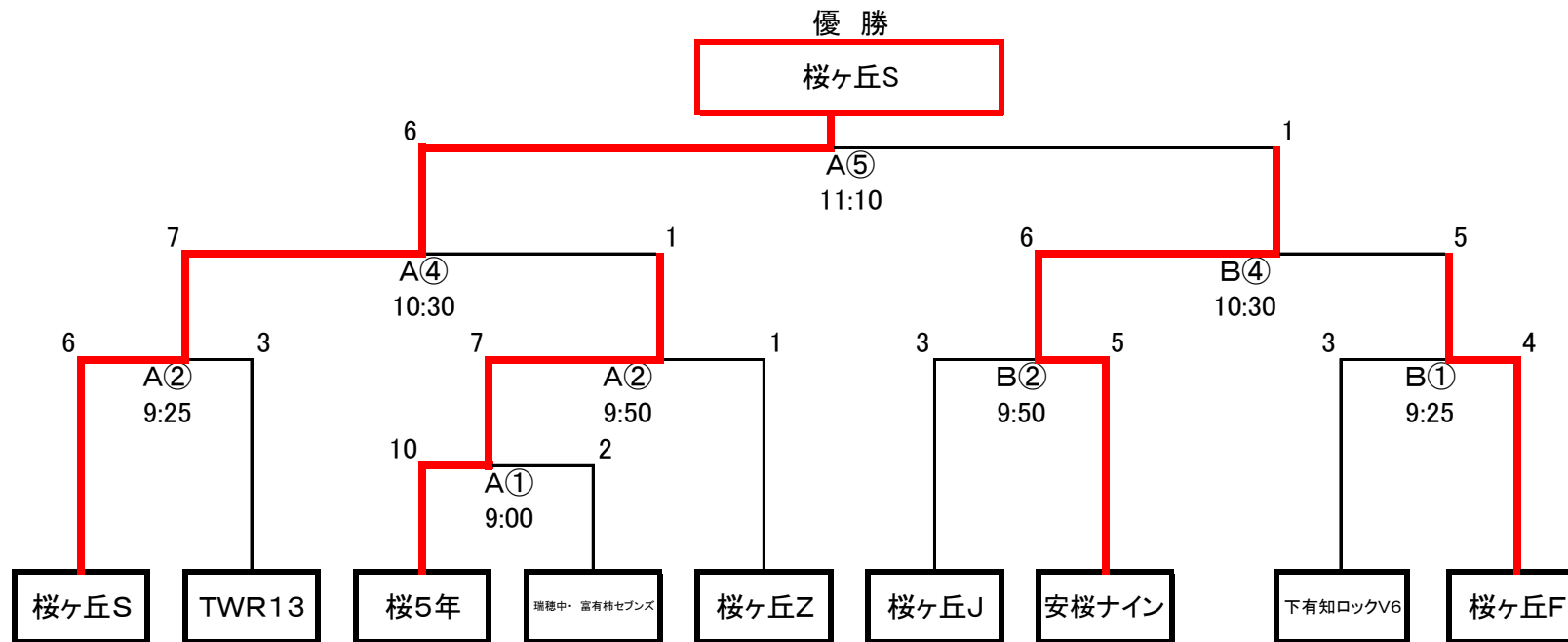


サントリーカップ第9回全国小学生タグラグビー選手権大会岐阜県大会
平成24年12月16(日)岐阜メモリアルセンター長良川競技場



※ 優勝の桜ヶ丘Sが、平成25年1月12日(土)に瑞穂ラグビー場にて開催の東海ブロック大会に出場します。

※ 決勝大会は、平成25年2月23日(土)秩父宮ラグビー場、24日(日)国立競技場にて開催いたします。

■大会レポート

12月16日（日）岐阜メモリアルセンター長良川競技場にて、岐阜県大会が開催されました。第9回大会は、トップリーグの普及育成事業として開催できました。今年度も原則として1小学校より1チームの参加とし、活動が盛んな関市においては8チーム程度の参加を認めました。今年度は、瑞穂市中小学校の参加を含め9チームの大会になりました。決勝トーナメントを実施し、代表チームを決定しました。大会終了後は、トップリーグのエスコートキッズを務め、トップリーガーと手をつないで入場して頂きました。

優勝は、関市立桜ヶ丘小学校の「桜ヶ丘S」チーム、準優勝は、関市立安桜小学校の「安桜ナイン」チーム、3位は、関市立桜ヶ丘小学校の「桜5年」チームと同小学校の「桜ヶ丘F」チームでした。優勝した「桜ヶ丘S」チームは、スピードがあり、テンポの良いパス回しができ、ディフェンスもしっかりしたバランスの取れたチームでした。ハンドリングがよく、相手のすきを逃さずキャッチしてチャンスを確実にトライに結びつけていました。

関市内では、市大会を実施され、県大会出場チームを選出されるなど、出場のどのチームもかなりの練習量を積んでいることが分かりました。関市ラグビーフットボール協会では、タグラグビー委員会を組織され、大会運営をされてみえることや、市内の小学校体育部会では、タグラグビーをテーマに研究を続けてみえることもラグビーの町関市の大きな原動力となっている所以だと感じます。子供たちの遊びの中に自然にタグラグビーが芽生え、「朝練」や「夕練」と称して休み時間にタグラグビーをする環境が整っていることも優れたチームを生む一つであると思います。

今大会も、県協会の委嘱を受けていただいた関市ラグビーフットボール協会の多大な協力を得ることができました。さらに、県内ラグビースクールの指導者に運営のスタッフに加わっていただきました。ありがとうございました。昨年度同様、こうした協力体制がなければ運営は困難な状況にあり、本当に感謝しています。

岐阜県は、今年度にぎふ清流国体開催を終え、ラグビー競技においても総合5位の成績を収めることができました。各カテゴリーでの強化が実を結び、社会人では、清流ラガーズがクラブ選手権に、朝日大学が大学選手権大会に、ジュニアのスクール選抜が共に全国大会初出場を果たしました。タグの代表チームも昨年度初の全国大会へコマを進めています。今年の代表チームもぜひ東海ブロック大会の優勝を期待します。

県協会では、今年度もタグラグビー指導者講習会を開催して県内の小学校の先生方やラグビースクールの指導者にタグラグビーティーチャーになっていただきました。タグセットの貸し出し回数も増加し、岐阜市内の小学校体育部会でもタグラグビーの実践が発表され、多くの教育現場で実践されるなど、タグラグビーへの関心は高く、タグラグビーを楽しむ子どもたちが確実に増えていると感じます。

未来に続く子どもたちのためにもタグラグビーの一層の充実を図っていききたいと思います。

■参加チーム名

桜ヶ丘S
TWR13
桜5年
瑞穂中富有柿セブン
桜ヶ丘Z
桜ヶ丘J
安桜ナイン
下有知ロックV6
桜ヶ丘F

・優勝チーム



・準優勝チーム



大会風景①



大会風景②







新聞掲載記事

小学生タグラグビー県大会
桜ヶ丘S(関市)優勝

サントリーカップ第9回全国小学生タグラグビー選手権大会(岐阜新聞・岐阜放送など後援)は16日、岐阜市長良福光の長良川親水場で行われ、桜ヶ丘S(関市)が優勝した。

ラグビーのトップリーグ「NECグリーンロケッツヤマハ発動機ジュビロ」の前座試合として実施。タグラグビーは5人制で、タックルの代わりに腰につけた布を奪い相手の動きを止める。大会には県内の9チームが出場し、優勝した桜ヶ丘S

桜ヶ丘Sは決勝で安桜ナインと対戦し、6-1で勝った。主将の山下陽平君(12)は「チームワークのよさを発揮できた」と笑顔を見せていた。

桜ヶ丘Sは東海大会(来年1月12日・名古屋市瑞穂ラグビー場)に出場し、全国大会(同2月23、24日・秩父宮ラグビー場ほか)出場を目指す。
(富樫一平)

サントリーカップ
JAPAN KID'S TAG RUGBY
全国小学生タグラグビー選手権大会
Kid's